

建前のあとに：

空白を利用したウェブコンテンツのステガノグラフィ

Real Intention that Comes After Polite Fiction : Steganography of Web Contents Using Space

吉永珠里, 宮下芳明 (明治大/JST)

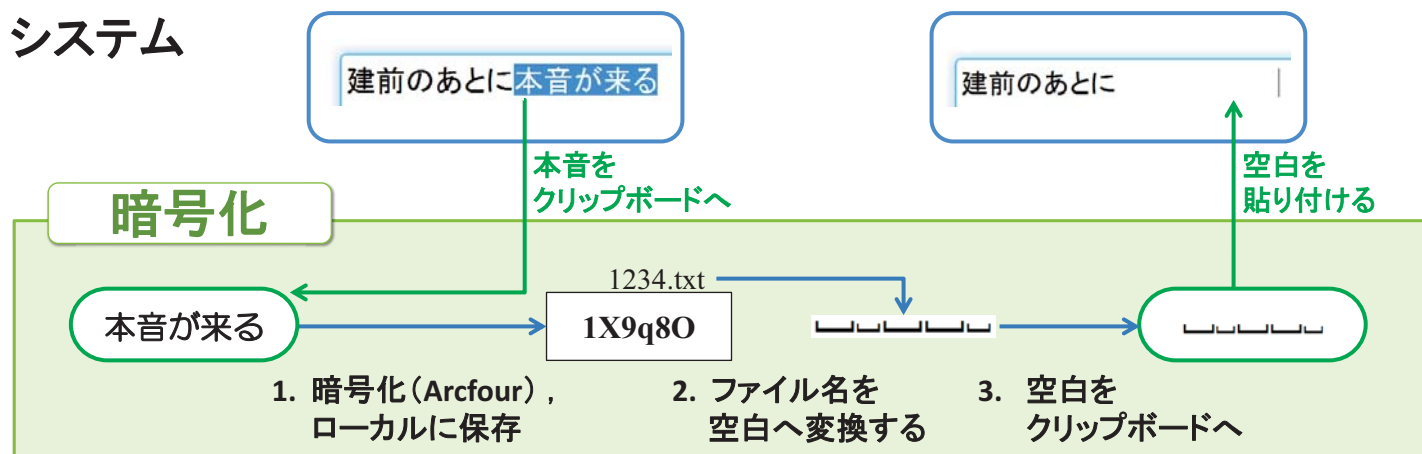
概要

誰にでも見える「建前」のあとに、「本音」をWeb上に書き込むことができる！

本音はローカルに保存・暗号化され、他者には全角・半角Spaceの空白が表示される。

ブラウザの拡張機能の導入により、記述者と許可されたメンバには本音が見える。

システム



復号化

1. HTMLの空白をファイル名に復元

_____ → 1234.txt

2. ローカルから同名ファイルを読み出し、復号化

1X9q80

本音が来る

3. 空白を本音に置き換える

_____ → 本音が来る



共有化

1. 本音ファイルをFTPサーバへアップロード・ダウンロード
2. 更新場所の一覧
3. パスワード認証

Web上で本音を書きにくいと思った経験あり！ (30/35人)

【原因】

- 知り合い、あるいは不特定多数に見られる
- 情報発信時の状況や立場

【結果】 書きにくいと思った本音は消されている！

展望

原理を理解できても安心感が得られなかったとの感想があったことから、

安心して本音を書くことができるシステム構築を目指す。

システムの効率化を行い、

人間の多面性を考慮したインタフェースに発展させる。